

# 第1章 市の概要

平成17年4月1日、石巻地域の1市6町は、新たな石巻市として生まれ変わりました。石巻市は、東経141°、北緯38°に位置し、東西約35キロメートル、南北約40キロメートル、面積554.58平方キロメートルの市域の中、北上川が新旧二つの河口から追波湾と石巻湾に注ぐとともに、その流域には平野が広がり、丘陵が点在しています。海岸は、長面浦・万石浦の入り江を伴いながら、太平洋側・牡鹿半島のリアス式海岸、石巻湾側の砂浜と変化を見せ、沖合の金華山、網地島、田代島といった大小の島々では、タブノキなどの林に覆われています。

また、北上高地から牡鹿半島へと続く北上山系の山々は、モミ・イヌブナ・ブナの自然林が原生林の面影を留めています。

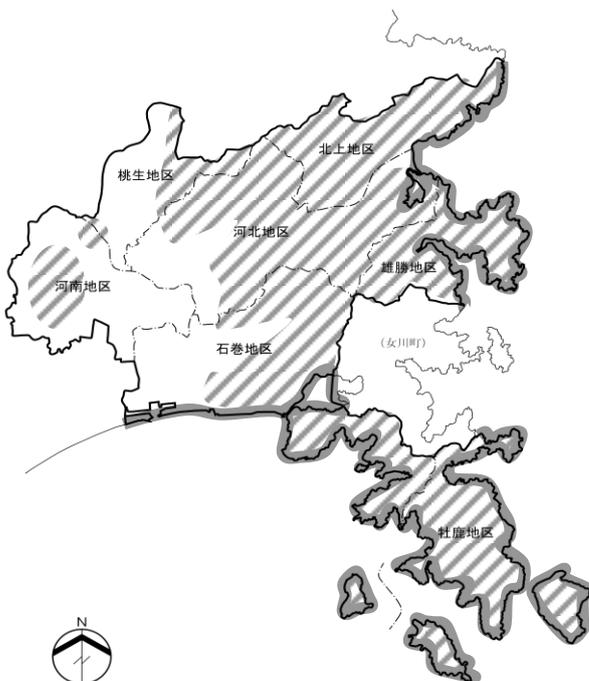
本市を象徴する花木として、「クロマツ」と「ツツジ」をそれぞれ平成17年10月17日に制定しております。クロマツは、大地にしっかりと根をおろし、太陽に向かって伸びていく姿から、本市の力強い発展を、ツツジは、明るく咲いている姿が市民生活にうらおいを与えるとともに、暑さや寒さに強いことから伸びゆく本市を、それぞれ象徴しております。

《図1-1 市の木「クロマツ」(左図) 市の花「ツツジ」(右図)》



写真：石巻市

《図1-2 石巻市の地形と基本データ》



凡 例	
	海岸・島嶼地域
	山地・丘陵地域
	平野地域

人 口：148,236人 (H28.4月末/住民基本台帳)
世帯数：60,823戸(同)
面 積：554.58km <sup>2</sup>

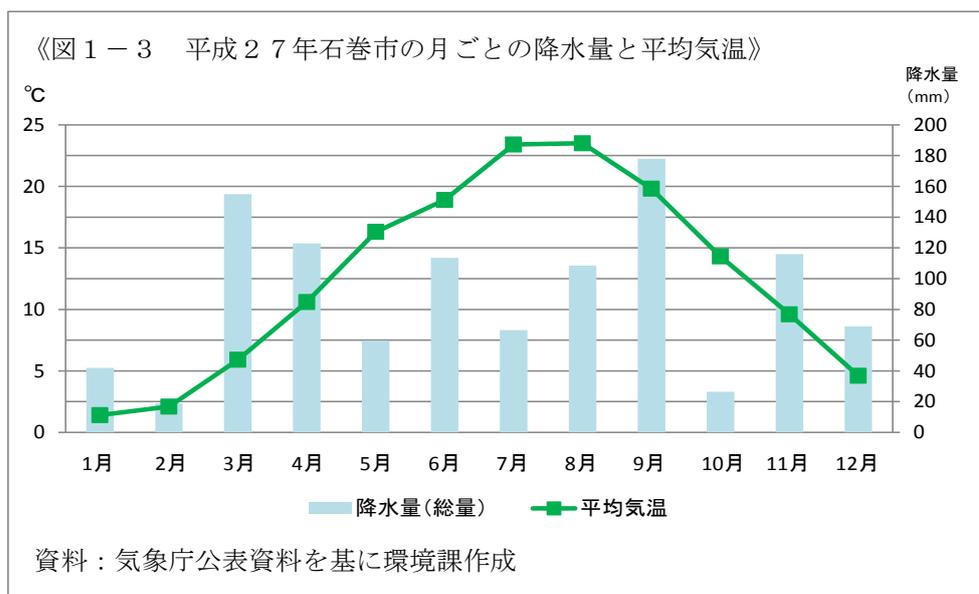
資料：国土交通省ホームページ「H27年全国都道府県市区町村別面積調」を基に環境課作成

気候は、春から夏にかけて吹く冷たく湿った東よりの風「やませ」により、特に梅雨明けごろには曇りや雨の日が多く肌寒い日が続きます。また平成27年の降水量については、「平成27年9月関東・東北豪雨」が発生した影響を受け、9月の降水量が非常に多くなっています。1月から3月までは、北西からの季節風が強くなってきますが、降雪量は少なく、晴れ上がった乾燥した日が多くなっています。

産業面を見ると、太平洋沿岸部では古くから漁業や水産加工業が盛んで、石巻工業港ではパルプ・紙・紙加工品製造や木材・木製品製造及び鉄鋼業等の工場が立地しています。

また、内陸部では、稲作を中心として農業・畜産・園芸等が営まれています。

東日本大震災の被害により、工業港、漁港とも大きな被害を受けましたが、工業港では、52社中50社が事業を再開しました。岸壁や埠頭等の港湾施設もほぼ全ての復旧工事が完成し、平成27年取扱貨物量も約352万トン（平成22年比87%）と順調に回復しています（参照：宮城県開発株式会社）。石巻漁港の水産加工団地では、水産加工関連企業207社のうち120社（平成27年3月31日現在）が再開し、漁港の復旧事業も進められています。石巻漁港は日本でも有数の漁港であり、東日本大震災の影響により取扱高が減少しましたが、平成27年の取扱数量約10万4千トンは、全国主要漁港の第8位となっています。（参照：株式会社時事通信社調べ）



《図1-4 平成27年の石巻市の気候に関する主要データ》

年間平均気温	12.5°C
年間最高気温	34.7°C
年間最低気温	-5.1°C
年間降水量	1076.5mm
日最大降水量	62.0mm

資料：気象庁公表資料を基に環境課作成